

# 注意 薬の食べ合わせ

薬と薬、薬と食べ物の組み合わせによっては、効果が弱まったり、強まったり、副作用が強くなったりすることがあるため、注意が必要です。

## × 組み合わせの注意



**注意** 薬の効き目が **強くないすぎる**

副作用が出やすくなったり胃腸や肝臓の障害を起こすことがあります。



**注意** 薬の効き目が **弱くなる**

薬の効果が抑えられ、病気が治りにくくなります。

## × お薬と食べ物との組み合わせに要注意

胃薬 と	風邪薬 と	睡眠薬 と	抗菌薬・抗生物質 と
 炭酸飲料 →薬の効果を弱める	 コーヒー・ 栄養ドリンク等 (カフェインを含むもの) →薬の効果を強める 副作用が出やすくなる	 アルコール →薬の効果を強める <u>ふらつき・転倒に注意!</u>	 牛乳・ヨーグルト →薬の効果を弱める

### 組み合わせの影響を防ぐために

こんな方は必ず医師・薬剤師にお伝えください

- ◆他の病院で処方された薬を服用している場合
- ◆市販薬や健康食品・サプリメントなどを利用している場合

### お薬手帳を活用しましょう

お薬手帳を使うメリット

- ◎飲み合わせをチェックできる
- ◎副作用、アレルギーの危険を下げる
- ◎旅行や災害、急に具合が悪くなった時などに、自分のお薬の情報を正確に伝えることができる



### お薬でこんなお困り事ありませんか？

こんな薬ありませんか？

この薬、  
なんの薬？

まだ飲む？

なぜ余る？



余った薬を薬局へ  
ご持参ください

薬剤師があなたのお薬を整理します！



- ・残った薬の処分にお困りの際は薬局で分別、廃棄いたします。
- ・余ってしまった薬がありましたら、薬剤師が薬の状態や数を確認し、処方日数を考慮してもらえよう医師と調整いたします。